

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	認知症グループホームとして、もっとその専門性を活かした力を地域に向けて発信したい。	地域の方々との相互的な交流を日常的に続けている。	ホームの一室を使い「お茶の間サロン」を開く。地域の独居の高齢者に呼びかけ、日中のひと時をホームの入居者様と地域の高齢の方々とのホームのサロンで過ごす。お茶やコーヒーなどを用意しご本人たちで好きなように利用し交流を深める。	10ヶ月
2	35	非常災害時の地域との協力体制を構築したい。	非常災害時に備え、常日ごろから隣近所との交流により、消防訓練や非常災害時の協力体制が相互に構築されている。	ホームの消防訓練には自治会や隣近所の方々が参加し、意見交換を行う。またホームのスペースを活かして、近所に災害が発生した場合には可能なできる限りの支援をできるように常日頃から検討を図る。	6ヶ月
3	33	終末期におけるサービス提供体制の強化を図りたい。	終の棲家としてのグループホームとして機能している。	ターミナルケアを実施するに当たっての障害となるもの・足りないもの・必要なものについて具体的に把握理解し、ご家族、医療従事者、ケアスタッフと相互に理解を深める場を持ち、情報の共有を図り認識をひとつにしていきたい。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。